

とやま

県広報とやま

2000

3
月号

No.372

富山県



みんなで応援2000年国体

特集 地域ぐるみで、心の教育
—社会に学ぶ『14歳の挑戦』—



第47回全日本吹奏楽コンクールで金賞を受賞した、富山ミナミ吹奏楽団の皆さん。



地域ぐるみで、心の教育

- 社会に学ぶ「14歳の挑戦」-

昨年、中学二年生が五日間、学校外で職場体験やボランティアなどの活動に取り組む、「社会に学ぶ「14歳の挑戦」」が実施されました。これは、子どもたちの「生きる力」を大きく「心の教育」の一環として行われたものです。

今月の特集では、「社会に学ぶ「14歳の挑戦」」を振り返るとともに、これからの教育の重要なテーマ「心の教育」についての取り組みをご紹介します。

いま、子どもたちは

子どもたちが、思いやりの心を持ち、他人の痛みを理解できる人間に成長していくことは、私たちみんなの願い。しかし、現実には、いじめや非行、不登校、コミュニケーション能力の不足といった問題が、子どもたちの間で深刻になっています。

その原因としては、画一的になりがちだったこれまでの学校教育、少子化・核家族化に伴う家庭での教育力の低下、地域の連帯感の希薄化などのほか、子どもたちの生活体験や社会体験等の不足も指摘されています。

地域社会がはぐくむ「生きる力」

このような状況に対応して、県と県教育委員会が積極的に取り組んでいるのが「心の教育」です。

ひとくちに「心の教育」といってもさまざまな内容がありますが、中でも特に重要なのが、子どもたちに「生きる力」を身に付けさせるというテーマです。

「生きる力」は、子どもたちが、いろいろな体験や人々とのかかわりの中で主体的に考え、試行錯誤しながら解決策を見いだしていく過程においてこそはぐくまれます。

「生きる力」を身に付ける機会は、学校内だけでなく、むしろ地域社会にこそあるといえます。

- 「生きる力」とは、
- ① 自分で課題を見つけ、自ら学び、考える力
 - ② 正義感や倫理観などの豊かな人間性
 - ③ たくましく生きるための健康や体力



生徒の感想から

■エンジンオイルを抜く作業では、「人命を預かる自動車の仕事に失敗は許されない」という言葉に手が震えたが、思いがけず「上手だ」とほめてもらい、自信とエネルギーが湧いてきた。その晩、自動車関係の仕事を持つ父と、仕事について語り合った。父の姿が大きく見えた。

(自動車販売店で活動した生徒)



■今回の体験では「他の人への気配り」を学びました。今までは自分中心に考えがちでしたが、これからは、広い視野で物事を考え、周囲の人にも気を配り、楽しい学校生活を送れるように努力したいと思います。

(福祉施設で活動した生徒)

■僕たちを陰で支えてくれている人が多いということが、身にしみました。

(図書館で活動した生徒)

生きる力を学んだ「14歳の挑戦」

「社会に学ぶ「14歳の挑戦」」を通して、子どもたちは、実社会の厳しさと温かさ、気配りや他人を思いやる心の大切さを実感したようです。

また、保護者からは「子どもたちが、一日一日、大人になっていくような気がした」、「地域の話が話題になり、家族の会話が増えた」などの感想が、地域の人たちからは「中学生を見直した」、「子どもたちに声をかけることができるようになった」、「地域の子どもは地域で育てるといふことの大切さを感じた」といった感想が寄せられました。

社会に学ぶ「14歳の挑戦」

■概要
昨年の七月から十一月にかけて県内の全中学校の約1/3に当たる二十七校で実施され、約三三〇〇人の中学二年生が参加。地域からは約一二〇〇人の指導ボランティアが参加した。

■主な活動場所
スーパーマーケット、コンビニエンスストア、飲食店、理美容院、工務店、自動車販売店、ガソリンスタンド、工場、農場、銀行、病院、福祉施設、幼稚園、保育所、警察署、図書館など。

■推進体制
教職員、保護者、地域のさまざまな団体のリーダー、受け入れ施設の関係者等による推進委員会を組織して事業を実施した。

保護者の感想から

■いつもは聞かれたことしか答えられない息子が、その日の活動内容を積極的に話してくれました。家族の話題もふくらみました。

■思いどおりにいかなくて、「私にはこの仕事は向いていない」と涙した日もあったが、家族で励まし元気づけた。子どもも親も一生懸命の五日間でした。

■肉体労働で大変そうだったが、汗水流してがんばる姿に驚いた。作業服姿が大人っぽく見え、こんなに大きくなったのかと思うと同時に、一生懸命な姿に感動した。

■病院で活動した娘は、「看護婦さんは、入院中のおばあさんに怒られても笑顔でお世話していたよ」と、目に涙を浮かべながら語ってくれた。思いどおりにならないとすぐに腹を立てていた娘が変わったのはそれからです。娘は、病院の方々の強さと優しさを分けてもらい、心が一回り大きくなったようです。



地域の声

3名の生徒を受け入れた、民営ダイケアハウス「にぎやか」代表、阪井由佳子さん



思春期の子どもがいけない私にとっては、学校の中はよく分からない世界でした。でも、「14歳の挑戦」で生徒を受け入れてみて、今の中学生のことがよく分かりました。今回の取り組みは、地域住民が子どもたちのことを考えるうえで、とても良い機会になったと思いますよ。



心の教育についての 主な相談窓口

■家庭教育やしつけについて

<子育てほっとライン>

☎076(433)4150

受付時間 月～金曜日 10:00～23:00
土曜日 17:00～23:00

※その他の時間はFAXで対応

■学校教育、いじめ、不登校について

<県総合教育センター教育相談部>

☎076(444)6167

☎076(444)6320 (いじめ相談専用)

受付時間 月・金曜日 13:00～17:00
火・水・木曜日 9:00～17:00

<教育事務所>

魚津 ☎0765(24)7830

受付時間 月・水・金曜日 10:30～19:00
火・木曜日 8:30～17:00

富山 ☎076(441)3882

受付時間 月・水・金曜日 10:30～19:00
火・木曜日 8:30～17:00

高岡 ☎0766(26)7830

受付時間 月・水曜日 8:30～17:00
火・木曜日 10:30～19:00

砺波 ☎0763(33)7830

受付時間 月・水曜日 8:30～17:00
火・木曜日 10:30～19:00

■思春期の子どもたちの発達などについて

<心の健康センター 心の電話>

☎076(428)0606

受付時間 月～金曜日 9:30～16:00

■非行や家出等について

<警察本部困りごと相談>

☎076(442)0110

受付時間 月～金曜日 8:30～17:15

■養育上の悩みや非行・虐待について

<富山児童相談所 子育てテレフォン相談>

☎076(422)5110

受付時間 月～金曜日 9:00～21:00
土・日曜日、祝日 9:00～18:00

平成11年度に実施した「心の教育」のための事業

I 「生きる力」を身に付ける活動等

■社会に学ぶ「14歳の挑戦」

中学2年生が5日間、学校を離れ、職場体験やボランティアなどの活動に取り組む。

■12歳立山登山

子どもから大人への転換点ともいわれる12歳の子どもが立山に登り、自然の素晴らしさや厳しさを体験するとともに、大人への自覚を高める。



12歳立山登山

■12歳スノーキャンプ

12歳の子どもが雪の里山で野外生活を体験し、自然の厳しさに触れながら、たくましく生きる力を身に付ける。

■子どもとやま県議会

小学5・6年生が、県議会議事堂で自分たちの将来や郷土について話し合い、社会の一員としての自覚を身に付ける。



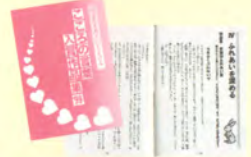
子どもとやま県議会

■中学校区「心の教育」ネットワーク活動

中学校区を単位に、学校、地域の各団体、家庭が連携して、「清掃奉仕活動」や「あいさつ運動」「意見発表会」などを実施する。

■「こころの言葉」活用事業

子どもの健やかな成長に役立つ言葉を広く募集し、優秀作品を児童生徒や保護者向けのパンフレットに掲載して普及啓発に役立てるとともに、インターネットでもPRする。



II 教員の指導力の向上

■学校カウンセリング講座

一般の教員を対象に、カウンセリングについての基礎的な研修を実施し、児童生徒や保護者からの相談、指導・援助についての能力を向上させる。



学校カウンセリング講座

■教員カウンセラーの養成

いじめや不登校等についての専門的な知識・技能を有する教育相談担当者[※]を養成するため、大学や教育研究所への派遣研修を行う。

※教育相談担当者

教育事務所で電話相談に応じる生活指導主事や、一部の中学校に配置されているカウンセリング専任教員など

■生徒指導支援スタッフ派遣事業

カウンセリングや性教育などの専門家を小・中・高校に派遣し、児童生徒の相談に応じるほか、教員・保護者を対象に講演会や研修会を実施する。

III 相談窓口の充実

■「生徒指導教育相談協力推進員」

教員OBを教育事務所に配置して不登校をはじめさまざまな問題に悩む児童生徒の家庭を訪問し、本人や保護者からの相談に応じる。

■「スクールカウンセラー」

精神科医や臨床心理士などの専門家を学校に配置し、教員や児童生徒、保護者からの相談に応じる。

◎一部の小・中・高校で実施

■「心の教室相談員」

教員OB、青少年指導者、ボランティア団体の方など地域の人材を中学校に配置し、生徒が気軽に相談できるようにする。

◎スクールカウンセラーが配置されていない中学校(小規模校を除く)で実施



心の教室相談員



福祉施設では、高齢者と折り紙を楽しみました。



ガソリンスタンドで朝の点呼。



生徒を受け入れた施設には、このようなポスターが掲示されました。



今日どんな活動をするのかな。指導の方と打合せ。



おいしいコーヒーになりますように。



上手の操作できるかなあ。



スーパーの食品売り場で、いらっしゃいませ。

**学校・地域・家庭が
一体で進める「心の教育」**

子どもたちのさまざまな問題を解決していくためには、学校だけではなく、地域や家庭と連携して、取り組んでいく必要があります。

従来の取り組みは、どうしても学校主導になりがちでしたが、「社会に学ぶ「14歳の挑戦」では、これからの教育の在り方を模索する学校、子どもたちを責任を持って受け入れる地域の人々、子どもたちを励まし支える保護者(家庭)が、子どもたちのことを一緒に考え、協力し合うことができました。そういう意味で、地域の子どもの地域で育てるといふ気運を高める良い機会になったようです。

県教育委員会では、「社会に学ぶ「14歳の挑戦」を今後も実施校を増やして継続していきたいと考えています。

●特集についての問合せ・意見は、
県教育委員会指導課まで
☎076(444)3452

地域の子どもは地域で育てる

子どもたちは地域の一人。子どもたちを健全に育てることは、地域社会全体の責任でもあります。

まずは、次のようなことを心がけてみませんか。

地域の行事に参加させよう

地域の行事や活動に、子どもたちを積極的に参加させましょう。子どもたちのアイデアを生かせるよう、企画段階から参加させると、一層効果的です。

地域を愛する心を育てよう

子どもたちと一緒に、地域に伝わる文化の伝承や自然環境の保護などに取り組み、地域の良さを伝えましょう。

子どもたちに声をかけよう

子どもたちを温かく見守り、日ごろから声をかけるようにしましょう。

子どもたちの活動に参加しよう

子ども会の清掃奉仕や、ラジオ体操など、子どもたちの活動に大人も積極的に参加しましょう。子育てを終えた人や、日ごろ子どもたちと接点がない人にも参加を呼びかけましょう。



とっても便利、富山空港の国際3路線

ソウルへ、ウラジオストクへ、大連へ。
富山空港の国際3路線は、富山と対岸諸国、そして世界を結ぶ、空のかけ橋です。
あなたも、富山空港から気軽な海外旅行に出かけてみませんか。



富山-ソウル便
運航会社/アジアナ航空
運航日/週4往復(月・水・金・土)
※金曜日は3/31から運航

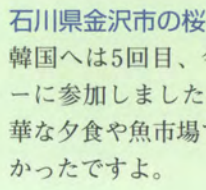
ダイヤ●富山発 12:30→ソウル着 14:40
●ソウル発 9:50→富山着 11:40

※ソウルでは次の都市への乗り継ぎが便利です。
香港、タシケント、ホーチミン、シンガポール、バンコク、シドニー、ニューヨーク、ロサンゼルス、サンフランシスコ、シアトル、シカゴ、ダラス、ワシントン、グアム、サイパン、釜山・済州など韓国内主要都市

問合せ/アジアナ航空富山支店
富山市大手町6-14(富山市民プラザ内)
☎ 076(491)7311



アジアナ航空富山支店 番匠春夫さん
韓国旅行の魅力は、安さと手軽さ。富山からだ、九州旅行よりも安くて、東京へ行くのと同じくらい。ビザが不要ですから、国内旅行感覚で出発できます。実際、2~3日前に予約される方も多いですよ。最近では、ソウルの南大門市場や東大門市場が人気スポットです。



石川県金沢市の桜井さん
韓国へは5回目、今回は温泉めぐりツアーに参加しました。宮中料理のような豪華な夕食や魚市場でのショッピングも楽しかったです。



富山-ウラジオストク便
運航会社/ウラジオストク航空
運航日/週2往復(火・金)

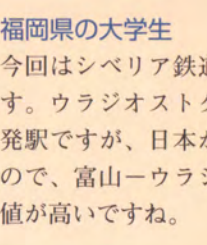
ダイヤ●富山発 14:40→ウラジオストク着 18:20
●ウラジオストク発 12:20→富山着 14:00

※ウラジオストクでは次の都市への乗り継ぎが便利です。
ヤクーツク、ユジノサハリンスク、カムチャッカ、モスクワ

問合せ/ウラジオストク航空富山事務所
富山市秋ヶ島30(富山空港ターミナルビル内)
☎ 076(495)3034



ウラジオストク航空 北陸地域マネージャー S.N.アバリンさん
ウラジオストクはロシア各地への乗り継ぎも便利です。観光面でも見どころがいっぱい。今年からは、富山空港発の格安なパック旅行商品が出てきました。大森林(タイガ)の中のコテージでの滞在や釣り、アムール川クルーズなどで、シベリアの大自然を満喫してください。



福岡県の大学生
今回はシベリア鉄道の旅を楽しむ予定です。ウラジオストクはシベリア鉄道の始発駅ですが、日本からの航空便は少ないので、富山-ウラジオストク便は利用価値が高いですね。



●乗継ぎ路線は、代表的なものの例示です。
▲大連の街並み(中山広場)
▼ソウル市内の市場(南大門市場)

官民一体で利用を促進
県では、これまでも、市町村や航空会社、旅行会社、経済団体などとともに「富山空港国際定期便開設促進協議会」を設立し、エアポートセールスの実施など、富山空港の国際路線の開設、利用促進に努めてきました。
また、富山空港は、ウラジオストク空港や大連周水子国際空港との間でそれぞれ友好空港提携しており、航空路線のPR活動を含めた情報交換や交流が進んでいます。
このような取り組みもあって、昨年の富山空港の国際線利用状況は、ソウル便で平均搭乗率が過去最高の七七・五％を記録したほか、国際路線全体の利用者数も過去最高の五六、五四〇人となるなど、概ね好調に推移しています。

北東アジアの交流に貢献
この国際3路線は、経済、観光、学術、文化、スポーツなど、さまざまな分野の交流の基盤です。
富山県では、昨年十月にNEAR21(北東アジア経済交流EXPO)が開催され、中国、韓国、ロシア、モンゴルなどからたくさんの方のビジネスマンが来県しました。
また、環境協力の面でも、富山県が運営を支援している(財)環日本海環境協力センターが、昨年、NOWPAP(北西太平洋地域海洋行動計画)の地域活動センター(RAC)に指定されるなど、富山県を舞台にした国際交流が進んでいます。
このような実質的な交流を積み重ね、富山県が対岸諸国との交流の中核拠点として発展していくために、国際3路線は大きな役割を担っています。

観光やビジネスに便利
富山空港の国際3路線は、皆さん一人ひとりにとっても身近で便利な存在です。
ソウル、ウラジオストク、大連への旅行はもちろん、乗り継ぎは、世界各地へもひとつ飛び。皆さんの行動範囲を広げてくれます。
観光に、ビジネスに、大いに利用して、あなたの可能性を広げてください。



富山-大連便
運航会社/中国北方航空
運航日/週2往復(水・土)

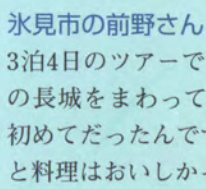
ダイヤ●富山発 13:30→大連着 15:10
●大連発 9:20→富山着 12:30

※大連では次の都市への乗り継ぎが便利です。
北京、上海、瀋陽、広州、鄭州、長春、成都、洛陽、三亜、深圳、青島、武漢、延吉

問合せ/中国北方航空富山支店
富山市奥田新町81(ポルファートとやま内)
☎ 076(443)3895



中国北方航空富山空港事務所長 王欣さん
大連はこれからが観光シーズン、五月には「アカシア祭り」も開催されます。また、大連は中国各地への乗り継ぎも便利。富山-大連便と一緒に購入すれば、中国国内線の航空券はとても割安になります。北京、上海、瀋陽など中国主要都市へのアクセスにもどうぞご利用ください。



氷見市の前野さん
3泊4日のツアーで、大連・北京・万里の長城をまわってきました。中国は初めてだったんですが、さすがにお酒と料理はおいしかったですね。

●問合せ・ご意見は、土木部航空対策室まで
☎ 076(444)3463
※ダイヤはいつでも三月二十五日までのものです。ご利用の際はご確認ください。
時刻は現地時刻です。

情報ビル

■富山県情報工房(1F)
 開館時間/午前9時30分～午後5時
 休館日/月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日、
 年末年始
 研修受講料/無料
 機器使用料/無料(創作ゾーンは有料)
 問合せ/☎076(444)7887
 http://www.johokobo.pref.toyama.jp/

■富山県マルチメディア情報センター(5F)
 開館時間/午前9時30分～午後5時
 休館日/月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日、
 年末年始
 研修受講料/有料(講座ごとに設定)
 設備使用料/有料(制作施設ごとに設定。要予約)
 問合せ/☎076(432)8885
 http://www.mmc.pref.toyama.jp/

■住所/富山市高田527
 ■市電で 新富山下車 徒歩15分
 ■バスで 新富山下車 徒歩15分
 ■自家用車で JR富山駅より約7分
 北陸自動車道富山ICより約20分



富山県情報工房と富山県マルチメディア情報センターがある情報ビル(富山県総合情報センタービル)には、このほかにも情報関連機関が入居し、地域の情報化のために活動している。

■(株)富山県総合情報センター
 ☎076(432)1116
 http://www.toyama-tic.co.jp/
 <主な事業内容>
 ・最新の情報処理技術を紹介するイベントやセミナーの開催
 ・地域の情報化リーダーの育成(電脳山田村塾など)
 ・情報ビルの管理

■(財)富山県産業情報センター
 ☎076(444)5600
 http://www.toyama-smenet.or.jp/
 <主な事業内容>
 ・中小企業等の企業活動に必要な情報の収集・提供
 ・中小企業等のインターネット利用の支援
 ・中小売商業者の支援



マルチメディア情報センター



ソフト制作室では、CD-ROMやハイビジョン静止画の制作などができる。



CG制作室。3次元や2次元CG、シミュレーションシステムなどがある。



110インチのハイビジョンスクリーンを使って、プレゼンテーションや研修会などができるマルチメディアシアター。高度な技術を少人数で学べる講座も開催されている。



アナログからデジタル編集まで可能なビデオ編集室。



音素材の制作や編集を行うオーディオ編集室。



パソコンの世界が自由に広がる体験ゾーン。楽しいメニューがいっぱい。



情報工房でのパソコン研修。マウス操作やキーボードの入力も丁寧に教えてくれる。受講者の年齢層も幅広い。

情報工房



創作ゾーンでは、CGやコンピューターミュージックなどの制作練習ができる。1時間までは無料。CG制作やビデオ編集などの講座も開催されている。



研修は、はじめてパソコンに触れる人でもリラックスして学べる雰囲気。



水彩画制作講座の受講者の作品。交流ゾーンに展示されている。

もつと身近に、もつと高度に。
 開かれた情報活用ステーション。
 情報をキーワードに、世界が広がる。

情報工房
マルチメディア情報センター

情報のドアを開いてみよう。
 ■インターネットやホームページ、電子メールといった言葉が日常的に使われる現在、私たちの生活は、もはや情報を抜きには語れない。そんな中、地域の情報化を進め、可能性を広げるための拠点として、富山県が設置したのが「情報工房」と「マルチメディア情報センター」である。

■「情報工房」は、より多くの人に情報やコンピューターに親しんでもらうための施設。パソコンの利用や研修は無料で、初心者でも気軽に入門できるように心がけがされている。

■「マルチメディア情報センター」は、その名の通り、マルチメディア作品を制作するための専門的な機器を備え、質の高い作品を制作できる環境を提供している。

■時代のキーワードともいえる情報。ドアを開けば、そこには新しい世界がある。

触れて、学んで、創って、気軽に始める。

――情報工房――

■「パソコンの使い方を知りたい」、「インターネットを楽しみたい」という人を対象にした情報工房は、気軽に楽しんで、学べる施設になっている。

■デジタル絵本を見たり、ゲームをしたり、料理の作り方を調べたり、パソコンを使って自由に楽しめる。また、マウス操作からインターネットまで、パソコンの入門編を学べる講座も開設されている。CGの制作やコンピューターを使った作曲も可能。館内には各講座の作品も展示されている。

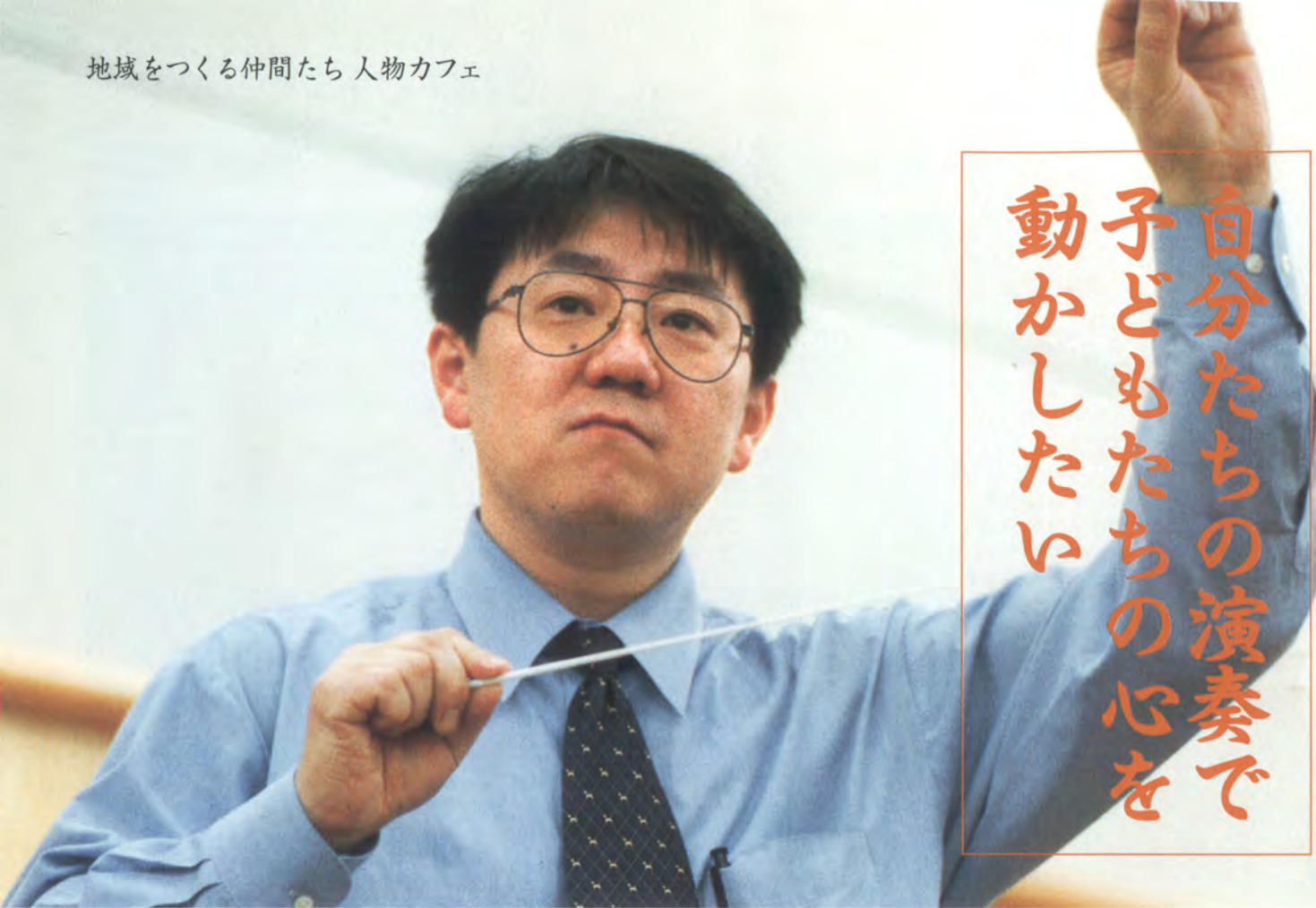
■宿題に出たことをインターネットで調べている親子、都会へ行った孫に電子メールを送れるようになるべくと研修を受けにきた人など、子どもから高齢者まで思い思いにパソコンに触れている。その楽しさを知って、何度も訪れる人が多い。

高度で専門的なニーズにこたえる。
 ―マルチメディア情報センター――

■マルチメディア情報センターは、デザイナーやクリエイターなどの高度で専門的な制作ニーズに対応している。常に最新の設備を導入しており、昨年機材などを一新。より快適な制作環境となった。静止画や動画、音声などを複合的に使った作品や新しい光ディスクDVDの制作もできる。

■プロに限らず、一般の人の利用も可能。基礎から実践までプロが教える講座もあり、これからマルチメディア作品をつくってみたい人や本格的にステップアップしたいという人の意欲を応援している。

■ますます多様に広がっていく情報化社会。情報をより身近に、より高度に。ふたつの施設には、これからの時代を楽しくヒントがまつている。



自分たちの演奏で
子どもたちの心を
動かしたい

富山ミナミ吹奏楽団に入団して17年になる牧野さんだが、指揮者としてのデビューは2年前。演奏中は厳しい表情を見せるが、ふだんはにこやかなお兄さんという雰囲気。団員とのコミュニケーションも大切にしている。



結成当初の練習場所が、富山市の南に位置する新保小学校校体育館だったことが名前の由来となった富山ミナミ吹奏楽団。昭和五十三年に十四人のメンバーによって結成されたこの社会人吹奏楽団が昨年、第四十七回全日本吹奏楽コンクールで金賞を受賞した。このコンクールは、ブロの吹奏楽団も参加するハイレベルの大会。初出場での金賞受賞はまさに快挙。総勢七十一名の団員が一丸となって成し遂げた栄えある成果だった。



第47回全日本吹奏楽コンクールで金賞を受賞した富山ミナミ吹奏楽団 団長・常任指揮者

牧野 誠さん
(まきの まこと)

1964年生まれ
富山市在住

PROFILE

昭和39(1964)年生まれ。「富山県民の歌」の作曲者・牧野良二氏の長男。県立富山商業高校吹奏楽部で吹奏楽の魅力に目覚め、卒業後、富山ミナミ吹奏楽団に入団。昭和63年より団長を務め、平成10年には常任指揮者に就任した。今年10月に開催される2000年とやま国体秋季大会、きらりんぴっく富山では、開会式や閉会式のファンファーレの責任者として活躍することになっている。



みんなで創り上げるのがミナミ流

「海の男達の歌」の曲目を、ダイナミックなサウンドで演奏し、富山ミナミ吹奏楽団は、昨年十月二十四日に福島県郡山市で行われた第四十七回全日本吹奏楽コンクールで見事金賞を獲得した。初出場で、いきなりの快挙。しかも県内の楽団の入賞は十年ぶりだった。

その富山ミナミ吹奏楽団の団長を務める牧野誠さんは、平均年齢二十三〜四歳という若いメンバーたちのまとめ役である。

「指揮者である僕自身も、うちの楽団も、タイプとしては努力型。音楽を追究し合って、音色やバランスなど、みんなで創り上げていくのがうちのやり方です」

とことん話し合って練り上げていくチームワークと、他に劣らぬ練習量。そうした努力こそ、牧野さんが大切にしているところであり、その土壌は牧野さんが吹奏楽と出会った高校時代につちかわれたという。

吹奏楽人口のすそ野を広げたい

牧野さんの父親は、「富山県民の歌」の作曲者である牧野良二氏。中学校長を退いた今も、子どもたちに音楽指導を続けている。息子の牧野さんはさぞや音楽の英才教育を受けたのではと思いきや、小学校はサッカー少年。中学に入ってから野球。その野球をやりたいと富山商業高校へ。それが、気が付いたら吹奏楽部に入っていたという。そこで待っていた

たのは運動部と変わらないトレーニング。楽器を吹くための体力づくりには汗を流す毎日だったが、きつい練習に耐え努力を積み重ねるなかで、吹奏楽の魅力に目覚めていった。

当時は富山県の吹奏楽の黄金時代。しかし現在は、楽器を手にする生徒が減少している。そこで、富山ミナミ吹奏楽団では、小中学校や養護学校を訪れて、積極的にコンサートをやっている。

「生の楽器の音を聴いて、あの音いいなあ、あの楽器やってみたいなあという気持ちで、子どもたちに持つてもらいたいんです。それが吹奏楽人口のすそ野を広げ、ひいては富山県の吹奏楽のレベルアップにもつながると思うんです」

音色には奏者の人間性が出る
だからチャレンジに終わりはしない

富山県社会人吹奏楽連盟の事務局長を務める牧野さんは、2000年とやま国体秋季大会ときらりんぴっく富山の開会式などのファンファーレの責任者でもある。開会宣言、聖火点灯など式典をスムーズに行きさせるために大切な役割だ。

「私にとちると式が始まらないんでしようね(笑)。そう考えるとこわい気もしますが、全国の注目が集まる

国体は、「富山県の吹奏楽はこんなにいい音を出しているんだぞ」とアピールする絶好の機会。富山県の吹奏楽ここにありの意気込みを込めたファンファーレを聴かせますよ」


富山ミナミ吹奏楽団の合言葉は「人に感動を」。特に子どもたちには、がんばる自分たちの姿を通して、感動と吹奏楽への興味を伝えたいという。演奏を聴き、楽器を手にした子どもたちと、いつか一緒にステージに立ちたい。牧野さんは、夢の実現に向けて、力強く人生のタクトを振り続けている。

富山ミナミ吹奏楽団のホームページ
webmaster@minami.club.ne.jp
コンサート情報
富山県社会人吹奏楽フェスティバル
日時/3月26日(日)午後1時30分開場
会場/オーバード・ホール
●問合せ 北日本新聞事業部
076 (445) 36355

近代美術館

セゾン現代美術館 コレクション展 「20世紀—時代の証言」
【4/2(日)まで】
国内外の現代美術を概観できる同館のコレクションの中から代表作約80点を展示します。
一般 900円/高・大 650円/小・中 450円


ベルギー絵画「20世紀の巨匠」
【4/15(土)~5/28(日)】
9:30~17:00
休 月曜(3/20は開館)・祝日の翌日
常設展示観覧料
一般 200円 高・大 160円 小・中 100円



立山博物館

チベットマンダラ恒例展
【3/20(祝)まで】
これまで当館が収蔵してきたチベットマンダラを公開します。
展示館の観覧券で入場できます。
※まんたら遊覧は、3月末まで休館です。

9:30~17:00
休 月曜(3/20は開館)・祝日の翌日
展示館 一般 300円 高・大 240円 小・中 150円
透望館 一般 100円 高・大 80円 小・中 50円




情報ビル

「春の情報工房フェア」
【3/11(土)・12(日)】
パソコンお楽しみ教室や、音楽とCGなどによる民話ライブ、デジカメ展示。
会場/情報工房

「マルチ情報フェア」
【3/11(土)・12(日)】
DVDとCGの制作システムを中心とした編集のデモンストレーションなど。
会場/マルチメディア情報センター


9:30~17:00 休 月曜(3/20は開館)・祝日の翌日 入館無料



とやま健康パーク

玉井博文さんの「風船で遊ぼう！」
【3/19(日)・26(日) 13:00~17:00】
高岡市在住のマジシャン玉井博文さんによるバルーンアートなど、親子で楽しむミニイベントです。


休 月曜(3/20は開館)・祝日の翌日
健康スタジアム 10:00~22:00(日・祝は19:00まで)
1日 1,800円/2時間半 1,500円/1時間 1,000円
生命科学館(展示場) 9:30~17:00 200円
屋外健康づくり施設 9:30~17:00 無料
※小・中学生は半額、幼児は無料です。



県民公園大岡山ランド


第1回三世代交流 ニュースポーツ・ゲーム大会
【3/26(日) 9:00~13:00】
子どもから高齢者まで楽しめるゲーム大会です。
種目/バタンク、フライングディスク(フリスビー)、フットボーリング、輪投げなど
参加費200円

9:00~17:00
休 火曜・祝日の翌日
入園無料(3月までは駐車場も無料)
※日・祝と第2・第4土曜日は園内無料バスも運行しています。



総合デザインセンター


椅子のディテール展 「イタリアのデザイナー」
【3/23(木)まで 9:00~17:00】
県立近代美術館の椅子コレクションの中から、10人のイタリア人デザイナーによる作品を展示。自由で美的なイタリアの感性に触れることができます。
会場/富山県産業高度化センター1階展示室(総合デザインセンターならび)
入場無料



水墨美術館

「日本の山水—下保昭展」
【3/26(日)まで】
独自の技法で深遠な自然を追求する下保昭さん(砺波市出身)の近年の画業を紹介します。
一般 700円/高・大 500円/小・中 350円

「近代の日本画—巨匠が描くおんなの美」
【4/15(土)~5/14(日)】
9:30~17:00
休 月曜(3/20は開館)・祝日の翌日
常設展示観覧料(展示室以外は無料)
一般 200円 高・大 160円 小・中 100円




立山カルデラ砂防博物館

ハイビジョンウィーク「ヒマラヤトレッキング紀行」
【3/19(日)~4/5(水)】
鮮明な大型映像により、ヒマラヤの大自然を体験できます。
(ハイビジョン映像上映時間) 11:00~、14:00~

「ジュエリー講演会「巨大山脈の誕生」

【3/19(日) 14:00~】
ハイビジョン映像の上映を交えて、ヒマラヤ山脈がどのように形作られたかを探ります。


9:30~17:00
休 月曜(3/20は開館)・祝日の翌日
一般 400円 高・大 320円 小・中 200円



こどもみらい館

造形ミステリーツアー
【3/4(土)~4/2(日)】
古代の地図や古代文字をまねたペンダントを作ります。
材料費50~200円

9:30~17:00
休 火曜・第4水曜・祝日の翌日
入館無料(3月までは駐車場も無料)




中央植物園

植物園を支える研究活動(4)
【3/10(金)~3/22(水)】
当園研究員等の日頃の研究成果を発表します。

夜桜鑑賞
【4/8(土)・9(日) 18:00~21:00】
※開花状況により開催日変更される場合があります。
会場/屋外展示園 花のpromenade
夜桜特別料金 一般 200円 小・中 100円

9:00~17:00 休 木曜・祝日の翌日
一般 300円 小・中 150円
ラン温室と高山植物室は、点検・整備のため入室できません。
なお、入園料は通常の半額です。




海王丸パーク

海王丸総帆展帆
【4/23(日)・5/5(祝)】

海王丸満船飾
【4/29(祝)】
公開10周年を記念して国際信号旗で海王丸を飾ります。


花の迷路 4/18(火)オープン
入園自由 帆船海王丸は9:30~17:00
3/17までは船体整備のため乗船できません
休 月曜(3/20は開館)・祝日の翌日
一般 400円 小・中 200円



高岡文化ホール

鮫島有美子ソプラノリサイタル
【3/27(月) 19:00~】
多くのファンを魅了し続ける歌姫、鮫島有美子さんが艶やかな歌声を披露します。
S席 4,000円/A席 3,000円(当日各500円高)

佐藤陽子 歌&ヴァイオリンのタペ
【4/21(金) 19:00~】
前売 3,000円(当日500円高)



編集後記

▼富山空港の国際3路線の取材で各航空会社の担当者からお話をうかがい、すっかり、ソウル、ウラジオストク、大連のことに詳しくなりました。いただいたパンフレットを眺めていると、自分もちょっと行って見ようかなと思います。

▼それにしても、海外旅行の安さにはビックリ。ソウルを例にとると、3泊4日で5万円台、季節によっては1泊2日で2万円台の格安ツアーもあるとか。こうなると本当に国内旅行の感覚ですね。

▼ただ、問題は、いつ行くかということ。原稿の締め切りに追われる毎日では、なかなか予定が立ちません。いつか広報誌が早く完成して、富山空港から海外旅行に出かける機会があればいいのですが…。

県広報とやまの**各世帯配布版**(年3回発行)は、新聞折込で各家庭にお届けします。また、**通常版**(年7回発行)は、次の場所で無料配布するほか、郵送による定期購読も受け付けています。

主な配布箇所

県庁、県刊行物センター(県民会館1階)、県の各施設、市町村役場、図書館、文化ホール、公共温泉施設、主なショッピングセンター、いきいきKAN(富山駅前C IC5階)、JR駅(一部)、富山空港、東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所

定期購読の申込方法

郵便番号・住所・氏名・電話番号・購読回数(通常版の回数)を明記し、郵送料として1回当たり160円分の切手を同封のうえお申し込みください。

※購読期間中は、通常版・各世帯配布版の両方を郵送しますが、郵送料の負担は通常版の方だけで結構です。

あて先 〒930-8501(住所不要) 富山県庁広報課「県広報とやま」定期購読係

次回(4月号)は各世帯配布版です。3月31日(金)の新聞各紙に折り込んでお届けする予定です。

INFORMATION

平成12年度富山県職員・警察官採用試験の実施予定				
試験名	試験職種	受験資格	受付期間	日程
上級(大学卒程度)	総合行政、警察事務、総合土木等	昭和45年4月2日~54年4月1日生まれの方	5月15日(月)~6月2日(金)	1次試験 6月25日(日) 2次試験 7月中旬~8月上旬 合格発表 8月中旬
中級(短大卒程度)	一般事務、農業土木等	1.昭和54年4月2日~56年4月1日生まれの方 2.昭和45年4月2日以降の生まれで、次に該当する方 ①短大若しくは高等専門学校を平成12年3月以降に卒業又は平成13年3月までに卒業見込みの方 ②人事委員会が①と同等の資格があると認める方	8月11日(金)~8月30日(水)	1次試験 9月24日(日) 2次試験 10月下旬~11月上旬 合格発表 11月中旬
	学校栄養職員等	昭和47年4月2日~56年4月1日生まれの方で、必要な免許等を有する方又は取得見込みの方		
初級(高校卒程度)	一般事務	昭和56年4月2日~58年4月1日生まれの方	8月11日(金)~8月30日(水)	1次試験 9月24日(日) 2次試験 10月下旬~11月上旬 合格発表 11月中旬
	学校事務、警察事務	昭和54年4月2日~58年4月1日生まれの方		
警察官(大学卒)	男性警察官 女性警察官	昭和45年4月2日~54年4月1日生まれの方で、大学(同等と認めるものを含む)を卒業又は平成13年3月までに卒業見込みの方	5月15日(月)~6月7日(水)	1次試験 7月9日(日) 2次試験 8月中旬~下旬 合格発表 9月上旬
警察官(大学卒を除く)	男性警察官 女性警察官	昭和45年4月2日~58年4月1日生まれの方。ただし、大学(同等と認めるものを含む)を卒業又は平成13年3月までに卒業見込みの方を除く。	7月21日(金)~8月16日(水)	1次試験 9月17日(日) 2次試験 11月上旬 合格発表 11月中旬
選考職種	バイオテクノロジー等の先端科学技術分野の研究員や特別な免許、資格を必要とする職種(獣医師、看護師(士)等)など	職種によって異なる。		欠員等の事情により不定期に実施します。ただし、総務部人事課行政管理係(Tel 076-444-3161)へお問い合わせください。

上記の内容は変更になる場合がありますので、詳細については、必ず各試験ごとの「受験案内」を参照してください。各試験ごとの受験案内・申込用紙は、次の場所で5月15日(月)から配布する予定です。富山県人事委員会事務局、県庁正面案内、県民相談室(高岡、魚津、砺波の総合庁舎内)、東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所 ※職種によって免許・資格(取得見込みを含む)を必要とするものがあります。また、免許・資格が必要な職種の一部には受験資格の年齢条件が異なるものがありますので、「受験案内」でご確認ください。

●問合せは 富山県人事委員会事務局任用課まで
〒930-0096 富山市舟橋北町4-19 森林水産会館7階 TEL 076-444-2166・2167
<http://www.pref.toyama.jp/sections/0300/0300.htm>

とやまの情報お伝えします!【3月の県政番組】

※タイトルは、いずれも仮題です。

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ 毎週日曜 11:00~11:30	富山見たもん勝ち チューリップテレビ 第4日曜 10:00~10:52
5日 とやまの新酒米 雄山錦	26日 富山と広島、意外なつながり
12日 介護保険のポイント	とやま県間録 FMとやま 毎週月曜~木曜 11:30~11:40 毎週土曜 11:30~11:55
19日 ふるさと探訪 滑川市	
26日 12年度 富山県予算	
とやま超発見! フォーカス・イン2 富山テレビ 毎週日曜 9:00~9:30	
5日 とやまの博物館	このほか、新聞広報やインターネットでも県政情報をお伝えしています。
12日 とやまの福祉	■新聞広報「県からのお知らせ」 3月25日に掲載
19日 春~卒業	■富山県ホームページ http://www.pref.toyama.jp/
26日 とやま花めぐり	

県政クイズ 応募お待ちしております。


富山空港の国際3路線で結ばれている都市は、どこでしょうか。

「ソウル、ウラジオストク、〇〇」とお答えください。

→答えは7・8ページを読めばわかります。

■応募方法

ハガキに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業と、本誌の感想・入手方法を記載。
あて先/〒930-8501(住所不要) 富山県庁広報課「県広報とやま3月号」クイズ係
締切/4月5日(消印有効)
正解者の中から10名の方に、「とやまの音風景」CDをプレゼントします。





とやま 音のある 風景

繰り返す、
悠久の響き。

Vol.21

松田江浜と雨晴海岸の波音
●氷見市・高岡市

二上山が海に迫り、いくつもの岩礁が波間に浮かぶ雨晴海岸。その昔、奥州へ向かう義経一行が岩陰で雨宿りをしたという伝説が、その名の由来といわれる。ここは、海越しに三千メートル級の山並みをもぞむ世界的な絶景の地、女岩の向こうには、立山が清らかな輝きを見せている。越中国守だった万葉の歌人大伴家持も、当時は「浪谿の崎」と呼ばれていたこの海岸を多く歌に詠んでいる。「馬並めていざうち行かな浪谿の清き磯廻に寄する波見に」。さあ、海を見に行こうと呼びかける若々しい歌である。奈良の都から来た家持にとって、雄大な海と山は、どれほど心動かされる光景だったことだろうか。岩が多く荒々しい雨晴海岸と対をなすように、ここから氷見にかけては、穏やかで優しい長浜が続ぎ、白い砂と松林が、弓なりに能登半島へと吸い込まれている。万葉集に「麻都太要の長浜」の名で登場する松田江浜と島尾海岸は、日本の渚百選にも選ばれた美しい自然海岸である。ザザー、ザザーと、折り重なるように波音が寄せる。海岸の名は変わっても、波音は変わらず繰り返す、時に人を遠い過去へと誘う。瞳を輝かせる若き国守を見ていた海岸に、今は白いカモメの群れが翼を休めている。ふと一羽が、海風を受けて早春の光の中に舞い上がっていった。

※県内五十箇所の「とやまの音風景」を収録したCDは市町村図書館などで聴きになれます。